





防火ダンパー付ベントキャップ（アルミ製） •DV-200AD
防火ダンパー付ベントキャップ（ステンレス製） •DV-200SD

- このたびは防火ダンパー付パイプフードをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- お求めの防火ダンパー付パイプフードを正しく使っていただくために、この取付説明書をよくお読みください。
- この防火ダンパー付パイプフードは屋外に取り付けて風雨の侵入を防止し、また火災が発生したとき換気口から他への延焼を防止するために使用します。
- この防火ダンパー付パイプフードは地区により規制を受ける場合がありますので、ご使用にあたっては、あらかじめ所轄官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- この防火ダンパー付パイプフードは屋外より取り付けるタイプですので、屋外より容易に点検や温度ヒューズの交換ができるところへ取り付けてください。（手の届かないところへは取り付けないでください。）
- 本品は換気以外の目的で使用しないでください。
- この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。

安全上のご注意

- ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は下の内容になっています。
- 記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

表 示	表示の意味
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定される内容”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定される内容”を示します。
＊１：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。	
＊２：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。	
＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。	
表 示	図記号の意味
 禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

警告

密閉または半密閉の燃焼設備（給湯器、ふろ釜等）の排気ダクトに使用しない

誤動作によりダンパーが閉じて、不完全燃焼により一酸化炭素中毒を起こす原因になります。



使用禁止

注意

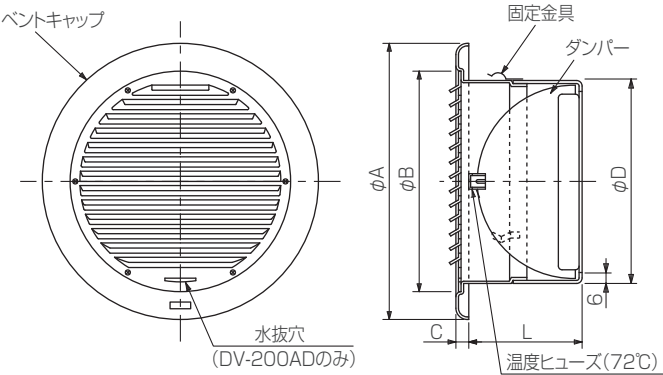
強度のある場所に確実に取り付ける

落下により、けがをする原因になります。



確実に取り付ける

外形図



＊寸法表 (単位：mm)					
形 名	A	B	C	D	L
DV-200AD	265	214	10	198	121
DV-200SD	246	220	8	198	121

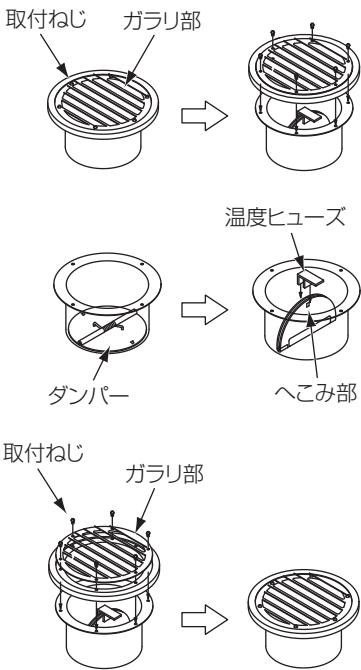
〈ご注意〉
VP 管にはご使用できません。

お願い

1. 万一火災が発生し、防火ダンパーが働いたときは、換気扇の排気ができません。そのときは温度ヒューズを交換してください（温度ヒューズは専用温度ヒューズをご使用ください）。
2. この製品には一般用 72℃の温度ヒューズが取り付けられています。建築基準法に基づく使用場所に適合させるために、温度ヒューズの交換が必要な場合には、温度ヒューズ（DV200AD（サービスコード No.41178085）、DV-200SD（サービスコード No.41178148））を別売しておりますので、お買い上げの販売店にご相談のうえお買い求めください。
3. 化学薬品を使うような場所には取り付けないでください。
4. パイプフードの取付時および温度ヒューズの交換時には、安全のために厚手の手袋を着用してください。
5. お手入れするときには中性洗剤以外の洗剤を使用しないでください。錆や変色の原因になります。
6. ステンレス製品は強い防錆力がありますが、海岸近くなど塩害の強い地域、塩素ガス、腐食性ガスの発生するところでは錆が発生することがあります。

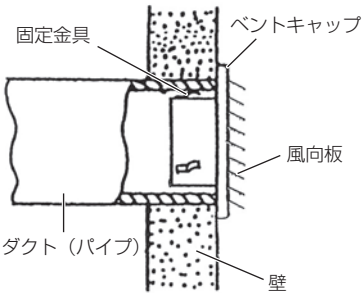
〈温度ヒューズの取り換え方〉

1. ガラリ部の取付ねじをはずし、ガラリ部を取りはずします。
2. 溶飛したヒューズを取り除いて、ダンパーを引き起こし、温度ヒューズをへこみ部にヒューズの爪がはまるように確実に取り付けてください。
3. ガラリ部を元のように取付ねじで確実に固定してください。



取付方法・取付工事前に製品に変形など異常がないか確認してください。

1. 壁に設けられたダクトに本体を差し込んでください。そのとき、水抜穴を下側にするか、あるいはガラリの風向板が下向きになるように取り付けてください。



2. 本体のフランジとダクト間を、モルタルなどの不燃性のコーキング材で埋めてください。

